

A-750a

NATURAL SOUND STEREO AMPLIFIER

取扱説明書・保証書



YAMAHA

ご使用の前に必ずお読みください。

このたびは、ヤマハ・ステレオアンプA-750aをお買い求めい
ただきました、まことにありがとうございました。

A-750aの優れた性能を充分に発揮させ、長年支障なくお使い
いただきために、この取扱説明書をご使用の前にぜひお読み
くださいますようお願いいたします。

目 次

特長	1
豊かなオーディオライフのために	2
接続のしかた	3
各部の名称とはたらき	6
演奏のしかた	11
録音のしかた	13
故障かなと思ったら	15
参考仕様	16
ブロックダイアグラム	17
ヤマハホットラインサービスネットワーク	18

特長

● CLASS A TURBO搭載

入力信号によりA級動作(5W、8Ω)とAB級動作(125W、
8Ω)を自動切り換えるCLASS A TURBO採用と新開
発歪打ち消し回路(ゼロディストーションルール)を設けて、
高品質とハイパワーを同時に楽しめます。

● 安定した電源回路

独立2電源の電源トランスと22000μF×2の大容量電解コン
デンサーを採用しています。

このため安定した電源を供給し、低音域まで力強く再現し
ます。

● 高性能イコライザーアンプ

ローノイズ・FET採用のDCサーボ・リアルタイム・イコ
ライザーアンプは、高SN比、低歪率を実現。入力信号にハ
イスピードに対応し、かつMCカートリッジをダイレクトに
使用できます。

● 豊富な付属機能

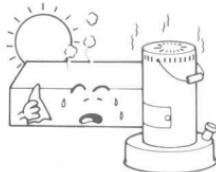
ダブルアクションやテープのダビングが可能なREC OUT
セレクター、不要な超低域のノイズを取り除くサブソニック
フィルター、さらに使用するスピーカーの低域周波数特性を
1オクターブ下まで伸ばすことのできるRICHNESS
スイッチ、グラフィックイコライザー等の接続に便利なア
クセサリー端子、さらにCD DIRECTなど多様のオーディ
オシステムのコントロールセンターとして充分な機能を備
えています。

● 操作性のよいパネルデザイン

ソフトな操作性を備えたスイッチやコントロールツマミは、
フロントパネルにバランスよくマッチして、ヤマハ独自の
優美なデザインを造り出しています。

豊かなオーディオライフのために

高温をさけて！

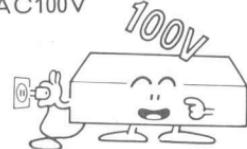


ほこり・水気をさけて！



国内のみ使用可

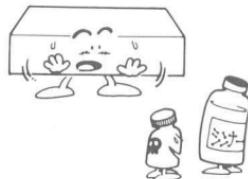
家庭用電源コンセント
AC100V



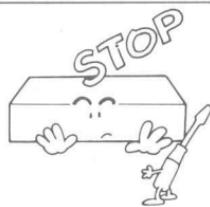
不安定な場所をさけて！



薬物厳禁



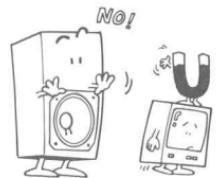
開けないで！



引っぱらないで！



磁気・テレビはさけて！



こわれた？



15ページの「故障かなと思つたら」をご覧ください。

保証書の手続きを！



取扱説明書はかならず
保管してください。



ファイルなど

接続のしかた

※接続の際は、各機器の電源を切り、右チャンネル(R)、左チャンネル(L)を確認して正しく接続してください。

※本機はA級動作時にAB級動作時よりも温度が上昇します。本機をセッティングするときは、放熱を防げない場所を選んでください。

コンパクトディスクプレーヤー(別売)

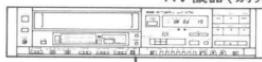


OUTPUT



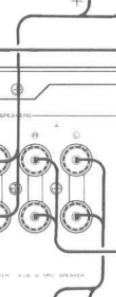
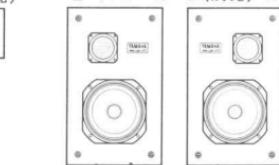
OUTPUT

AV機器(別売)



OUTPUT

L スピーカーB(別売) R



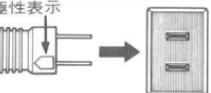
YAMAHA MODEL A-750a

TAKEZO K 100V 200W
50/60Hz
日本製
YAMAHA
AC OUTLET
SWITCHED
ON/OFF TOTAL
ON/OFF L/R

他の機器の電源プラグ
(合計で100Wまで供給。
A-750aのPOWERスイッチと連動します。)

他の機器の電源プラグ
(200Wまで供給。
A-750aのPOWERスイッチとは連動しません。)

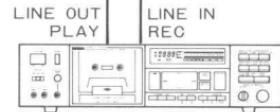
家庭用電源コンセント
AC100V、50/60Hz



電源プラグ

電源プラグとAC OUTLETの極性表示

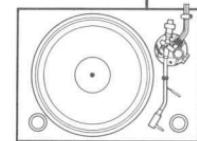
本機の電源プラグとAC OUTLETには、極性表示（電源トランジストの巻き始め側を、
プラグに“□”マークで表示）されています。これは、各機器の電源の極性を合わせるためです。



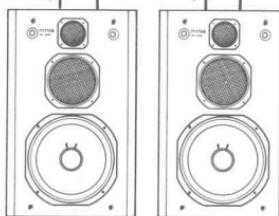
テープデッキ1(別売)



テープデッキ2(別売)



レコードプレーヤー(別売)



L スピーカーA(別売) R

■スピーカーシステムの接続

SPEAKERS端子Aの⑧側に右側のスピーカーシステムを、⑨側には左側のスピーカーシステムを極性(+)、(−)を確認して接続してください。

SPEAKERS端子Bも同様にもう一組のスピーカーシステムを接続することができます。

※極性が合っていない場合、音が中央に定位せず、ステレオ感のない低音のそこなわれた不自然な再生音となってしまいますのでご注意ください。

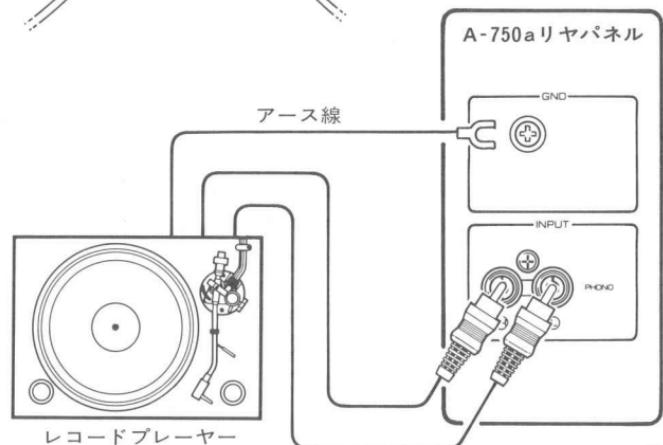
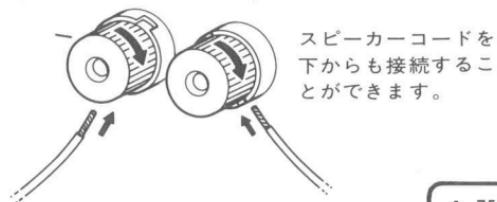
※接続するスピーカーは指定のインピーダンスの範囲内のものをご使用ください。スピーカーを並列に接続して使用する場合、スピーカーの合成インピーダンスが指定範囲を下まわらないように特にご注意ください。

※AまたはB端子だけに接続する場合は6~16Ω。A・B両方の端子に接続されたスピーカーシステムを同時に使用する場合は、A・Bそれぞれのスピーカーシステムが12Ω以上のものをご使用ください。

※接続の際スピーカーコードの露出部分が他の端子に接触しないようにご注意ください。

■レコードプレーヤーの接続

レコードプレーヤーの出力コードをPHONO端子に接続し、アース線をGND端子に接続してください。



■CD、チューナー、その他のAV機器の接続

コンパクトディスクプレーヤー(CD)はCD端子へ、FM/AMチューナーはTUNER端子へ、その他のAV(オーディオ・ビデオ)機器は、VIDEO/AUX端子へそれぞれ接続してください。

■テープデッキの接続

本機では、TAPE 1、TAPE 2端子にテープデッキの接続ができます。

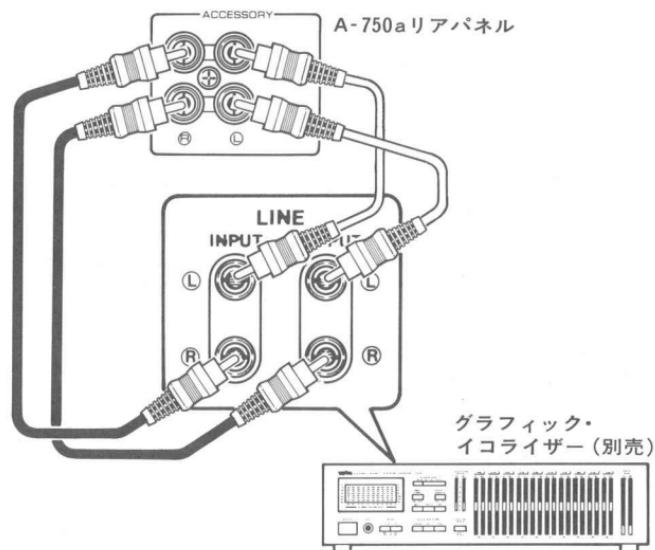
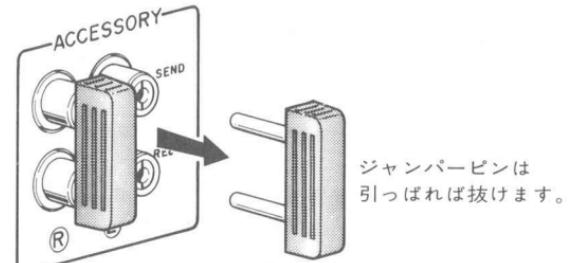
TAPE PB端子とテープデッキのLINE OUT端子、REC OUT端子とテープデッキのLINE IN端子をそれぞれ接続してください。

■ACCESSORY端子の使用

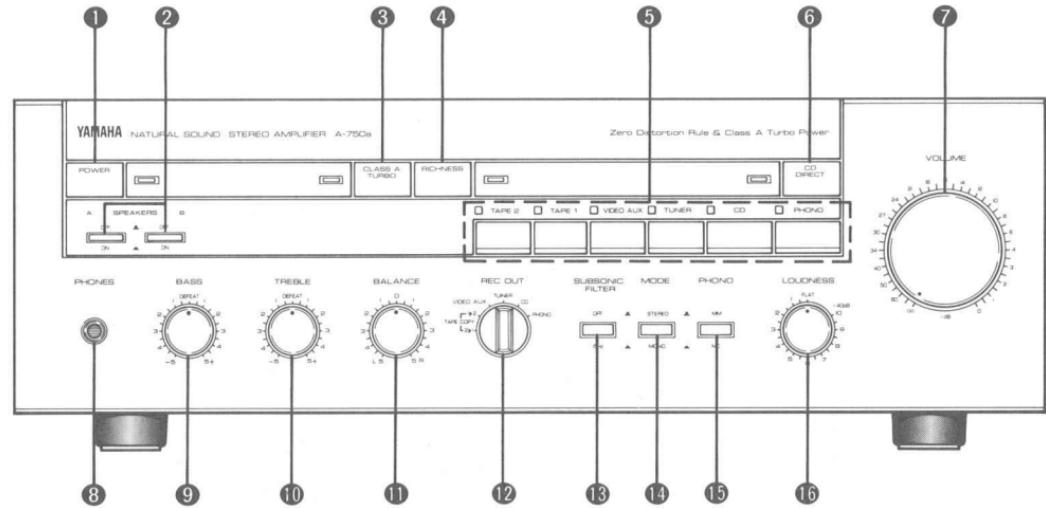
サラウンド・アンプ、グラフィックイコライザー等を使用するときは、ACCESSORY端子に接続します。

ACCESSORY端子よりジャンパーピンを抜き取り、SENDとINPUT、RECEIVEとOUTPUTを右図のように①、②それぞれ接続してください。

なお、ACCESSORY端子を使用しないときは、ジャンパーピンは差し込んだままにしておきます。



各部の名称とはたらき



①POWERスイッチ

このスイッチを押すと電源が入り右のインジケーターが点灯します。もう一度押すと電源が切れます。

※電源を入れるときは、必ず VOLUME ツマミを最小の位置“∞”に回してください。

※電源を入れてから数秒間は、スピーカー保護回路が働いているため音が出ません。

②SPEAKERSスイッチ

本機に接続されたスピーカーシステム(A・B)を選択するスイッチです。

Aのボタンを押すとA端子に接続されたスピーカーシステムから、Bのボタンを押すとB端子に接続されたスピーカーシステムから音ができます。

A・B両方のボタンを押すとA・B両方のスピーカーシステムから音ができます。

③ CLASS A TURBOスイッチ

スイッチがOFFの状態では、本機の動作はAB級(CLASS AB)動作のままでですが、スイッチをON(左のインジケーター一点灯)にすると、動作はA級(CLASS A)AB級自動切換となります。A級動作では、透明度が高く、歪の少ない音質が得られます。

一般に、 8Ω 負荷で設定されたアンプのA級動作は、低負荷時にはAB級になり歪が発生しますが、本機では負荷と信号レベルを検出し、あらゆる負荷で信号レベルが低いときはA級動作をし、信号レベルがA級動作の限界まで上がると自動的にAB級動作に切り換わりますので、歪の発生は全くありません。

特性として、A級動作はAB級動作に比べてこのように音質面では有利ですが、能率や消費電力、セットの発熱などの点では不利になりますので、お聞きになる状態に応じてスイッチを切り換えてください。

※A級動作では、AB級動作より無信号時でも常により多くのアイドリング電流を流しており、セットの温度上昇を伴いますので、ご使用時の放熱には充分ご配慮ください。

④ RICHNESSスイッチ

このスイッチを押すと右のインジケーターが点灯し、接続されているスピーカーの低域周波数(45Hz)特性を約1オクターブ下までフラットに伸ばすことができます。

このときは、有害な超低域成分は自動的にカットされます。

⑤ インプットセレクター

入力端子に接続されているプログラムソースを選択するスイッチです。お好みのプログラムのボタンを押すとインジケーターが選択されたプログラムを示します。

⑥ シーディー CD DIRECTスイッチ

このスイッチを押すと、左のインジケーターが点灯し、インプットセレクターに関係なくCDを選択することができます。このスイッチは、インプットセレクターのCDスイッチよりも短い信号経路でCDプレーヤーからの信号をスピーカーに伝えますのでCDを良い音質でお楽しみいただけます。

⑦ ボリュームツマミ

音量を調整するツマミで右に回す(時計方向)ほど音量が大きくなります。

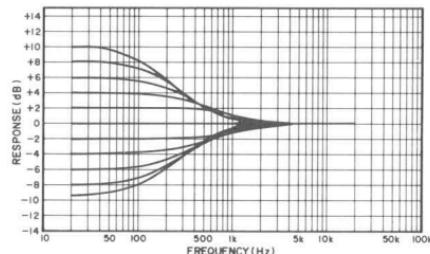
POWERスイッチをはじめ、各スイッチを切り換えるときや、レコードに針を降ろすとき、針を上げるときは一度音量を最小にしてください。

⑧ ホーン PHONESジャック

ヘッドホンを接続するジャックです。ヘッドホンだけでお聴きになりたいときは、スピーカーセレクトスイッチA・B両方のボタンをOFF■にしてください。

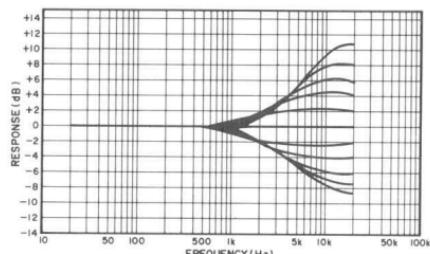
⑨BASSツマミ

低音域を調整するツマミで、DEFEATポジションでフラットになり、右に回すほど低音が強調され、左に回すほど減衰されます。



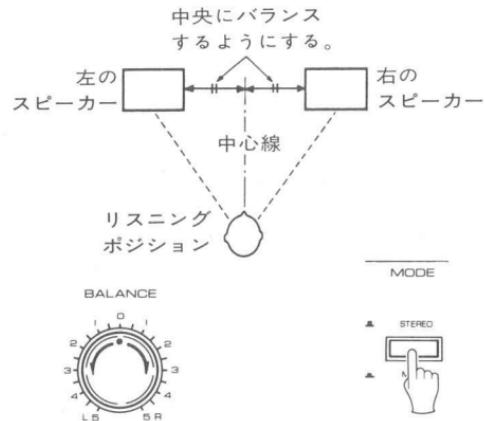
⑩TREBLEツマミ

高音域を調整するツマミで、DEFEATポジションでフラットになり、右に回すほど高音が強調され、左に回すほど減衰されます。



⑪BALANCEツマミ

左右のスピーカーの音量バランスを調整します。ツマミを右(左)に回すと左(右)の音が小さくなります。バランス調整は、MODEスイッチを“MONO”にし、左右のスピーカーの音が中央に聞こえるようにします。調整後は、モードを“STEREO”に戻しておきます。



MODEスイッチを“MONO”にして
バランスを調整し、調整後は“STEREO”に戻す。

⑫ REC OUT SELECTOR

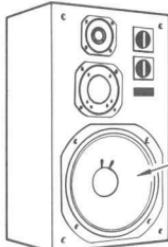
接続されているテープデッキに録音用の信号を選択して送り出すスイッチです。

インプットセレクターに関係なく接続されているプログラムソースを選択して録音することができます。たとえば、レコードを聴きながらREC OUTスイッチをTUNERにしてFM放送をエアチェックすることができます。

録音中あるいはダビング中、トーンコントロール、
BALANCE、VOLUME、SUBSONIC FILTER、MODE、
RICHNESSなどを操作しても録音には影響しません。

⑬ SUBSONIC FILTER

通常は音楽再生に必要のない15Hz以下の低域をカットするスイッチです。レコード盤のそりなどによるスピーカーのコーン紙のフラつきを防止できます。



レコード演奏のときは、スピーカー保護のため、
このスイッチを"ON"にしてご使用することを
おすすめします。

⑭ MODE SWITCH

プログラムソースのモードを選択します。

STEREO ■では通常のステレオで再生され、MONO ■ではモノラルで再生されます。

⑮ PHONO SELECTOR

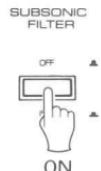
ご使用されるカートリッジにより切り換えてください。

MM型カートリッジはMM ■ポジションで、MC型カートリッジはMC ■ポジションでご使用ください。

※カートリッジの出力電圧は機種によって異なりますのでカートリッジの取扱説明書をご参照ください。

⑯ LOUDNESSツマミ

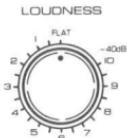
人間の聴覚には音量が小さくなるにつれて低音と高音が聞こえにくくなるという特性があります。これを補正するのがラウドネスです。一般のラウドネスは、ボリュームの回転角度により低域と高域が強調されるため、スピーカーの能率や音量、部屋の状態によっては不自然な補正となる場合がありますが、本機では、コンティニュアラウドネス方式を採用し、音量の基準を自分で決められるため、自分の聴く音場と音量に従って多種多様なラウドネス効果を得ることができます。



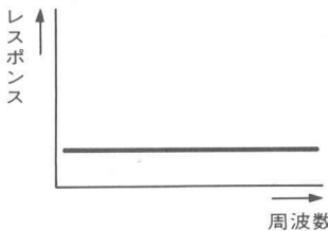
LOUDNESSについて

操作方法

①



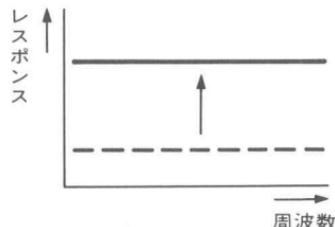
最初FLATにします。



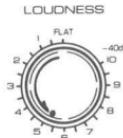
②



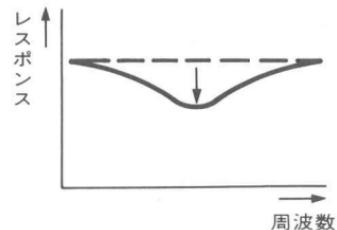
低域から高域までのバランスが最適になるまで音量をあげます。



③



VOLUMEツマミはそのままLOUDNESSツマミでお聴きになる音量まで下げます。音量を下げるに従ってLOUDNESS効果は強調されていきます。



これで音量に応じたLOUDNESS補正が完了しました。

演奏のしかた

電源を入れる前に接続をもう一度確認しましょう。

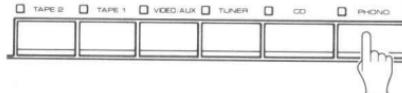
- 接続コードの①、②及びスピーカーシステムとアンプの極性(+)、(-)は逆になっていませんか。
- 接続コードはしっかりと接続されていますか。
- また、演奏を始める前は、アンプのボリュームは最小にしておきましょう。

アンプおよび各機器のPOWERスイッチを押します。

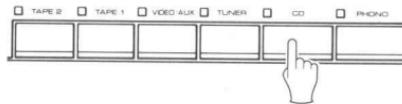


プログラムソースを選択します。

●レコード演奏の場合



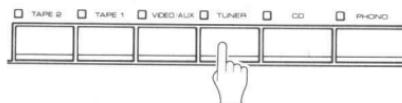
●CD演奏の場合



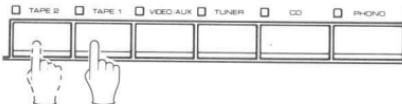
または



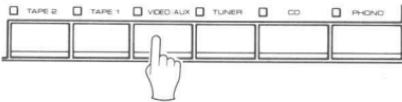
●チューナー受信の場合



●テープデッキの場合



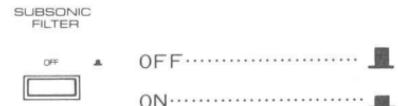
●AUXの場合



使用するカートリッジに合わせてPHONOスイッチをセットします。



レコード盤のソリによる低音域(15Hz以下)をカットする場合、SUBSONIC FILTERをONにしてください。

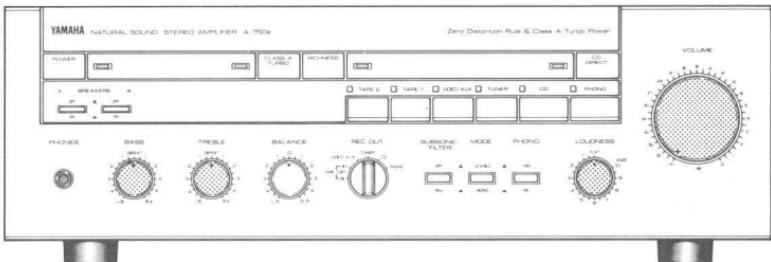


■CD DIRECTスイッチ

CD DIRECTスイッチをONにすると、インプットセレクターのCDスイッチを押した場合より短い信号経路でCDプレーヤーからの信号をスピーカーに伝えます。CDを良い音質でお楽しみいただけます。

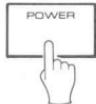
プログラムソースの演奏を始めます。
各機器の操作方法は、それぞれの取扱説明書を参照してください。

アンプの音量や音質を調整してください。

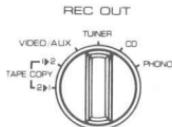


録音のしかた

アンプ、テープデッキおよび録音したい機器のPOWERスイッチを押します。



REC OUTセレクターで録音したいプログラムソースを選びます。



録音するプログラムソースをスタートさせます。

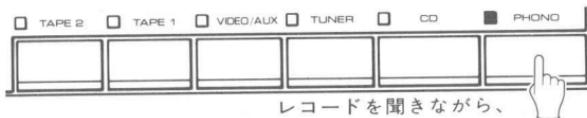
テープデッキを操作し、録音を始めます。
(同時に2台のテープデッキに、録音できます。) テープデッキの操作はテープデッキの取扱説明書をご覧ください。

録音内容をモニターする(録音している音を聞く)時は、
インプットセレクターの“TAPE 1”または“TAPE 2”
(録音しているテープデッキに合わせて)ボタンを押してください。

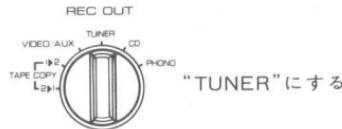
■ダブルアクションについて

インプットセレクターで選んだプログラムソースを聞きながら、別のプログラムソースをREC OUTセレクターで選んで録音することができます。……ダブルアクション
ダブルアクションの主な例は下表のようになります。

インプット セレクター	REC OUT セレクター	ダブルアクション
PHONO	TUNER	レコードをスピーカーで聴きながらFMまたはAM放送を録音できます。
TUNER	TUNER	FMまたはAM放送をスピーカーで聴きながら同時に録音できます。
PHONO	PHONO	レコードをスピーカーで聴きながら同時に録音できます。
TUNER	PHONO	FMまたはAM放送をスピーカーで聴きながらレコードを録音できます。



レコードを聞きながら、
FM放送を録音する場合



"TUNER"にする

この他にも、インプットセレクターとREC OUTセレクターの組み合わせにより、いろいろなプログラムソースを二重に楽しむことができます。

■テープのダビングについて

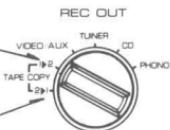
テープデッキが2台ありますと、テープからテープへダビングすることができます。

リアパネルTAPE 1端子に接続しているテープデッキ1から、TAPE 2端子のテープデッキ2へダビングする場合は、

1. REC OUTセレクターを"TAPE COPY 1▶2"にします。
2. テープデッキ1を再生状態にし、テープデッキ2で録音します。

(テープデッキ2から1へも同様にして、REC OUTセレクターを"TAPE COPY 2▶1"にし、上記2を逆の状態にするとダビングすることができます。)

テープデッキ1からテープ
デッキ2へダビングする場合



テープデッキ2からテープ
デッキ1へダビングする場合

録音中あるいはダビング中、トーンコントロール、
BALANCE, VOLUME, SUBSONIC FILTER, MODE,
RICHNESSなどを操作しても、録音には影響しません。

故障かなと思ったら

本機をご使用中に正常に動作しなくなったときは、下記の事項をご確認ください。そのうえで正常に動作しない、あるいは下記以外で何か異常が認められました場合は、本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店または最寄りのYAMAHA電気音響製品サービス拠点宛、お問い合わせ、サービスをご依頼ください。

どんな状態ですか	ここをチェックしてください	こうすればOKです
電源スイッチをONにしても電源が入らない。	電源コードのプラグが電源コンセントにしっかりと差し込まれていない。	電源プラグを電源コンセントにしっかりと差し込みなおしてください。
インプットセレクターを切り換えると再生音が全く出ない。	SPEAKERSスイッチが正しくセットされていない。 VOLUMEツマミが絞られている。 入力端子のピンプラグが確実に差し込まれていない。	正しくセットしてください。 VOLUMEツマミを右(時計方向)に回してください。 ピンプラグをしっかりと差し込みなおしてください。
左右スピーカーあるいは左右いずれかのスピーカーから音が出ない。	アンプとスピーカーの接続が不完全 アンプとスピーカーの接続が不完全。 BALANCEツマミがLかRのどちらかにずれている。	接続を確認してください。 接続を確認してください。 BALANCEツマミを正しく調整してください。
低音のない不自然な再生音で、音像が安定しない。	アンプとスピーカーの位相(+、-)が合っていない。	アンプとスピーカーの位相(+、-)を合わせて接続しなおしてください。
レコード演奏のとき"ブーン"というハム音が入る。	ピンプラグの接続不良。 プレーヤーのアース線がはずれている。 MCカートリッジの近くに電源コードがある。	ピンプラグをしっかりと差し込みなおしてください。 アース線をリアパネルGND端子に接続してください。 電源コードは、カートリッジやPHONO出力コードの近くには配線しないようにしてください。
レコード再生時、VOLUMEをあげると"ワーン"という音が出る。	レコードプレーヤーとスピーカーシステムの設置場所が近すぎたり、不安定だったりして"ハウリング"をおこしている。	レコードプレーヤーとスピーカーシステムの各々の設置場所を変えてください。(特に部屋のコーナーは避けてください。)
MCカートリッジの音が小さい。	PHONOセレクターがMMの状態になっている。	PHONOセレクターをMCにセットしてください。

参考仕様

定格出力

20Hz～20kHz, 0.003% THD, 8Ω

125W+125W

0.005%

0.003% THD, 6Ω

A級(5W+5W)

0.003%

150W+150W

0.003%

(62.5W/8Ω)

ダイナミックパワー

1kHz, 8Ω/6Ω/4Ω/2Ω

175/210/285/380

0.005%

パワーバンド幅

0.03% THD, 62.5W/8Ω

10Hz～50kHz

0.003%

ダンピングファクター

1kHz, 8Ω

45

入力感度/入カインピーダンス

PHONO MC

160μV/220Ω

70dB/86dB

MM

2.5mV/47kΩ

133μV

CD/TUNER/AUX/TAPE

150mV/47kΩ

ACCESSORY RECEIVE

150mV/47kΩ

最大許容入力

1kHz, 0.01% THD, PHONO MC

10mV

±10dB(20Hz)

MM

165mV

350Hz

出力電圧/出カインピーダンス

REC OUT

150mV/470Ω

±10dB(20z)

ヘッドホン

0.003%

0.91V/8Ω, 8.6V/100Ω

3.5kHz

周波数特性(20Hz～20kHz)

CD, TUNER, VIDEO/AUX, TAPE

+0
-0.5dB

15Hz, -12dB/oct

-40dB(1kHz)

RIAA偏差

20Hz～100kHz, PHONO MC/MM

±0.5dB

AC100V, 50/60Hz

20Hz～20kHz, PHONO MC

±0.3dB

230W

MM

±0.2dB

全高調波歪率(20Hz～20kHz)

PHONO MC→REC OUT (3V)

0.005%

MM→REC OUT (3V)

0.003%

CD, TUNER, VIDEO/AUX, TAPE→SP OUT

0.003%

(62.5W/8Ω)

混変調歪率

CD, TUNER, VIDEO/AUX, TAPE(定格出力/8Ω)

0.002%

(1W/8Ω)

0.003%

SN比(IHF Aネットワーク、入カショート)

PHONO MC(250μV)/MM(2.5mV)

70dB/86dB

残留ノイズ (IHF Aネットワーク)

133μV

チャンネルセパレーション(1kHz, Vol. -30dB)

PHONO MC/MM(ショート)

70dB

CD/TUNER/AUX/TAPE(5.1kΩ)

65dB

トーンコントロール

BASS

±10dB(20Hz)

ターンオーバー周波数

350Hz

TREBLE

±10dB(20z)

ターンオーバー周波数

3.5kHz

フィルター特性

SUBSONIC FILTER

15Hz, -12dB/oct

コンティニュアスラウドネスコントロール

最大補正量(聴感補正カーブによる)

-40dB(1kHz)

定格電源電圧、周波数

AC100V, 50/60Hz

定格消費電力

230W

ACアウトレット

SWITCHED×2

Total 100W max.

UNSWITCHED×1

200W max.

外形寸法(W×H×D)

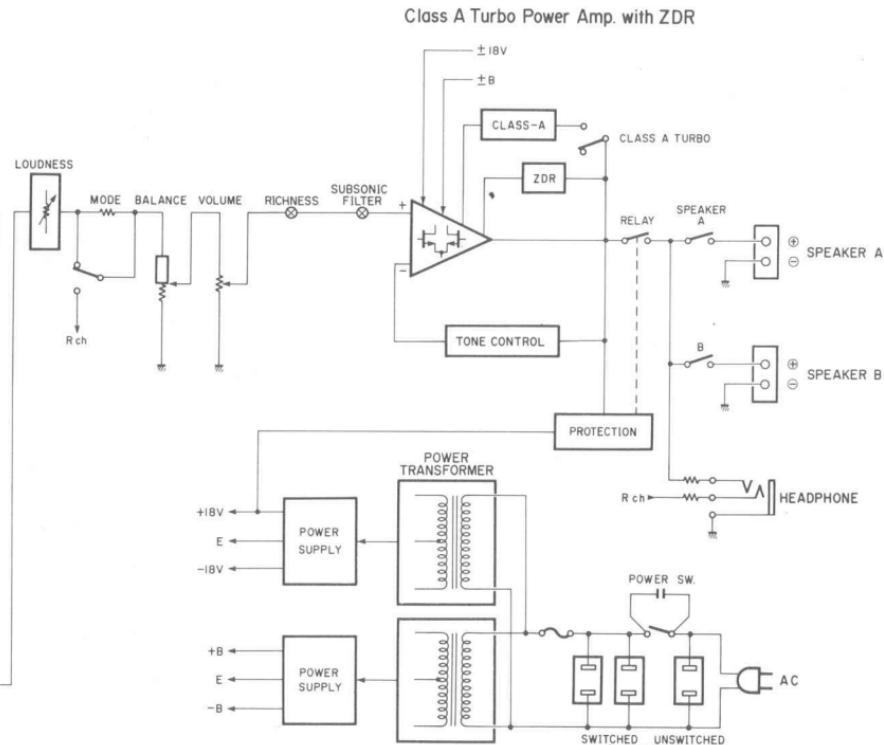
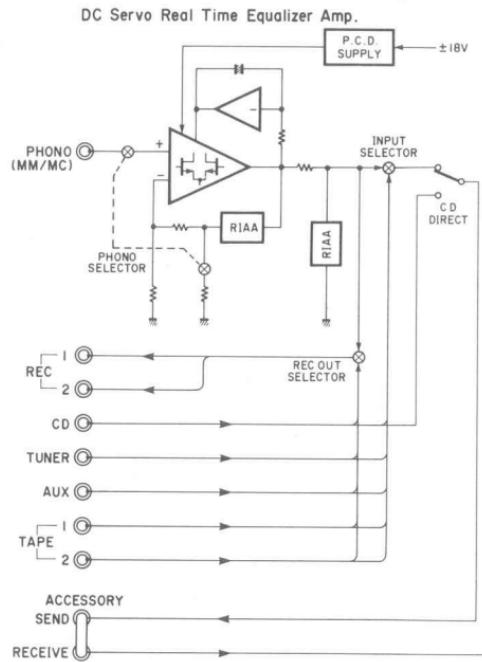
435×144×399mm

重量

10.5kg

※参考仕様および外観は改良のため予告なく変更されることがあります。

ブロックダイアグラム



ヤマハ ホットライン サービス ネットワーク

ヤマハ ホットライン サービス ネットワークは、本機を長く、安心してご愛用頂けるためのものです。サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

●保証期間

お買い上げ日より1年間です。

●保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後の修理

修理によって製品の機能が維持できる場合には、お客様のご要望により有料にて修理いたします。

●補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後8年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●持ち込み修理のお願い

故障の場合、お買い上げ店、または最寄りの

YAMAHA電気音響製品サービス拠点へお持ちいただければ、出張料などの経費の点でお得です。

(右欄サービス拠点の所在地と電話番号をご参照ください。)

●ステレオの状態は詳しく

サービスをご依頼なさるときは、ステレオの状態をできるだけ詳しくお知らせください。またセットの品名、製造番号などもあわせてお知らせください。

※品名、製造番号は本機背面パネルに表示しております。

■YAMAHA電音サービスセンター

(電気音響製品の修理受付および修理品お預かり窓口)

北海道 〒065 札幌市東区本町1条9-3

TEL.(011) 781-3621

仙 台 〒983 仙台市鶴町5-7 仙台卸商共同配送センター3F

TEL.(0222) 36-0249

東 京 〒211 川崎市中原区木月1184

TEL.(044) 434-3100

新 潟 〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーポールビル2F

TEL.(0252) 43-4321

浜 松 〒432 浜松市東伊場2-13-12

TEL.(0534) 56-9211

名古屋 〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2

日本楽器流通センター TEL.(052) 652-2230

大 阪 〒565 吹田市新芦屋1-16 千里丘センター内

TEL.(06) 877-5262

四 国 〒760 高松市丸亀町8-7

TEL.(0878) 51-7777 (0878) 22-3045

広 島 〒731-01 広島市安佐南区西原2丁目27-39

TEL.(082) 874-3787

九 州 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-14

TEL.(092) 472-2134

本社

営業技術課 電音サービスセンター 〒430 浜松市中沢町10-1

TEL.(0534) 65-1111

■ステレオ営業所

北海道 〒064 札幌市中央区南10条1-4 ヤマハセンター内

TEL.(011) 512-6115

仙 台 〒980 仙台市大町2-2-10 住友生命仙台青葉通りビル

TEL.(0222) 23-3101

東 京 〒101 東京都千代田区神田駿河台3-4 龍名館ビル4F

TEL.(03) 255-6767 (03) 255-5691 (03) 255-2201
(03) 255-1825 (03) 255-2605 (03) 255-4701

横 浜 〒211 川崎市中原区木月1184

TEL.(044) 434-4871

新 潟 〒950 新潟市万代1-4-8 ヤマハ新潟センター内

TEL.(0252) 41-2084

千 葦 〒260 千葉市千葉港2-1 千葉中央コミュニティーセンター内

TEL.(0472) 47-6622

水 戸 〒310 水戸市三ノ丸1-47-3 三井ビル5F

TEL.(0292) 24-7774

高 島 〒370 高崎市連雀町75 ヤマハ高崎月販内

TEL.(0273) 27-3322

静 岡 〒422 静岡市緑ヶ丘1-15 緑ヶ丘ビル4F

TEL.(0542) 85-4878

浜 松 〒432 浜松市東伊場2-13-12

TEL.(0534) 56-4461

名古屋 〒464 名古屋市千種区東山通5-65

ヤマハ東山センター3F TEL.(052) 782-7551

北 陸 〒920 金沢市本町2-7-1 越田ビル1F

ヤマハ金沢ショッピングセンター内 TEL.(0762) 21-2166

関 西 〒556 大阪市浪速区敷津東1-9-16 ヤマハなんばセンター内 TEL.(06) 647-6411

中 国 〒730 広島市中区八丁堀10-14

TEL.(082) 221-4123

四 国 〒760 高松市丸亀8-7 ヤマハビル7F

TEL.(0878) 22-8642

北九州 〒801 北九州市小倉区堅町2-3-13

ヤマハ小倉センター内 TEL.(093) 592-3122

九 州 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4

TEL.(092) 472-2131

■ヤマハオーディオ日本楽器直営店

札 幌 店 〒064 札幌市中央区南十条西1丁目

ヤマハセンター内 TEL.(011) 512-6126

仙 台 店 〒980 仙台市一番町2-6-5

TEL.(0222) 27-8517

銀 座 店 〒104 東京都中央区銀座7-9-14

TEL.(03) 572-3133

浜 松 店 〒430 浜松市銀治町321-6

TEL.(0534) 54-4327

名古屋店 〒460 名古屋市中区錦1-18-28

TEL.(052) 201-5153

心斎橋店 〒542 大阪市南区心斎橋筋2-39

TEL.(06) 211-8869

神 戸 店 〒650 神戸市中央区元町2-7-3

TEL.(078) 391-7651

海外拠点 ロサンゼルス・メキシコ・ハンブルグ・
スウェーデン・シンガポール・フィリピン

日本楽器製造株式会社

〒430 浜松市中沢町10-1 TEL.(0534) 65-1111(代)

住所および電話番号は変更になる場合があります。



YAMAHA